

平成24年度社会教育委員会議1月定例会会議録

平成25年1月15日

201 会議室

午後7時～

出席者 委員10名

事務局 3名

1 開 会

【議長】 昨日行われた成人式は、雪のため全国的に大変だった。青梅市は、1,473人の新成人が対象だった。

【課長】 昨日は、寒く足元も悪い中、成人式へ御出席いただきありがとうございました。お陰様で無事に終了することができた。テレビ朝日からの取材もあり、放映もされた。

2 報告事項

(1) 平成25年青梅市成人式の実施結果について (報告資料1)

【事務局】 資料にもとづき報告。出席者は、昨年比で25人、3.5%減であった。天候の影響と思われる。アンケート結果については、出席理由としては記念になるからが39%、友達に会えるからが45%、招待状が届いたからが14%であった。また、87.8%が出席して良かったということであった。タイムカプセルの返還についても、93.3%があった方がよいとの回答であった。

【議長】 出席率は、近隣の市町村と比べて良いのでは。

(2) 平成24年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会交流大会について

ア 日 時 平成24年12月1日(土) 午後1時～

イ 会 場 稲城市中央文化センター

ウ 出席者 議長、委員1名

随行 事務局1名

【事務局】 表彰、各ブロック研修会の報告および講演会があった。講演会では、慶応義塾大学の渡辺秀樹教授から、「海軍主計大尉小泉信吉」の本から読み解く、家族愛についての話があった。現代でも十分に通用する内容である。

【議長】 第1ブロック研修会の報告は、日の出町の前町長の講演内容に

ついてだった。講演会は、家族愛、父親論についての話だった。

【委員】 ブロック研修については、いろいろな地域での活動内容がわかり、勉強になった。講演会は、父親論に加え、家庭教育について日本といろいろな国を比較しての説明があった。

(3) 東京都市町村社会教育委員連絡協議会会則の改正について

【事務局】 以前より東京都市町村社会教育委員連絡協議会で議論されている会則の改正案について、青梅市は修正なしで回答した。

【議長】 12月に各委員に事務局から通知が届いた。社会教育委員という名称をもたない自治体を会員とすることについて、会則を一部変更する。最終的には総会で決まる予定である。

(4) (一社) 全国社会教育委員連合第2回総会の会議資料について

(報告資料2)

【事務局】 資料にもとづき報告。後ほどお目通し願いたい。

【議長】 全国社会教育研究大会の際に行われた、第2回総会の会議資料が届いた。

(5) 平成24年度東京都区市町村社会教育委員名簿について

【事務局】 東京都市町村社会教育委員連絡協議会から委員名簿が送付された。確認願いたい。

(6) 小学校入学説明会における家庭教育の啓発について (報告資料3)

【事務局】 資料にもとづき報告。

【議長】 今年度行く学校は、どうやって選んだのか。

【事務局】 入学説明会の日程で、1校だけのところそのまま行く。その他は、来年度放課後子ども教室を新規に行うところなどに赴く。

【委員】 資料に掲載されていない学校は実施しないのか。

【事務局】 実施しないが、必要な希望校にはチラシを送付する。

【議長】 昨年度の反応はどうだったか。

【事務局】 校長先生からは、機会があったら実施してほしいと話があった。保護者については、入学時に何を準備するかの方が関心が高い。市としては、家庭教育講演会は興味のある人だけ来るが、入学説明会は保護者全員が対象なので、良い機会と捉えている。

3 協議事項

(1) 東京都市町村社会教育委員連絡協議会第2回理事会について

日 時 平成25年2月21日(木) 予定

【事務局】 年度当初の総会で日程が示されている。正式な開催依頼がきしだい、理事である議長に連絡する。

【議長】 内容については、理事会後の定例会で報告する。

(2) 成人式の反省・感想について

【委員】 天候の関係で、会場の外での騒ぎはなかった。また、全体としても良い印象だった。前任校時代の生徒が司会や誓いの言葉を務めていたので懐かしかった。

【委員】 着物の新成人が可哀想だった。会場内は落ち着いた印象を受けた。静かなぶん声も良く聞こえ、新成人の反応も確認できて良かった。

【委員】 以前の成人式と比較すると、今回の新成人は話を良く聞いていた。司会者が、ショールをお取りくださいと言ったのも良かった。テレビを観たが、そうしているところも青梅市ぐらいだった。

【委員】 自分自身は、成人式に参加できなかったのが初めて参加したが、非常におとなしく、人の話を良く聞き、国歌もきちんと歌っていた。司会者も仲間が担当していたので、認めていた。成人式に保護者が大勢来ていたのには驚いた。

【議長】 今は、幼稚園の卒園式には夫婦で参加している。

【委員】 天候のせいか、親が多かった。着物が汚れないように左右の振袖を両親が片方ずつ持っている姿も見かけた。思い出写真館を上映している時は私語が多かったが、タイムカプセルの映像は見入っていてとても良かった。10年前の二分の一成人式は、当時と照らし合わせることができて、私たちも楽しめた。誓いの言葉の中で、自然豊かで活発な地域と青梅を表現していたのも良かった。寒い中、お手伝いの人たちも大変だったと思う。

【委員】 アンケート結果の数字を見ると、シンプルな成人式だったが、良かったという意見が80%を超えており、タイムカプセルの返還についても、良かったが90%を超えていて青梅市の特徴が出ていて良かった。出席率も驚異的な数字だと思う。自分は他市に下宿していて成人式に出られなかったのが、好感を持って参加できた。

【委員】 天候は残念だったが、シンプルでさっぱりしていた成人式だったが、祝辞などの話の中にも意味があり、二十歳を迎えるに当たり、シンプルだから良かったと思う。記念品はなくなったが、精神的に大勢の方が

お祝いをしてくれることは大事なことである。祭り事はシンプルさが大切である。タイムカプセルも心に残り、二十歳になって思い出を振り返ることも楽しみである。ショールは、昨年の反省も踏まえて司会者から話してもらったが、常識を伝えることができた。式の最中も徐々に外していった。

【議長】 ショールは、コートと同様、外で羽織るものである。祝辞を議長が述べる際は、原稿を読み上げるのではなく、できれば顔を上げて周りを見ながら話した方が、新成人に対しても印象が良いと思う。

【事務局】 当日のタイムカプセルの変換率は、75.2%であった。映像が映し出されたら、新成人は会場内にするすと入っていった。

【委員】 始まりのチャイムは良い。

【委員】 会場内の暖房は入っていたのか。

【事務局】 入っていた。設備として備えている。

【委員】 冷房はないと思う。

【議長】 記念品について意見はあったか。

【事務局】 今回がなくなって3回目だったが、一番の楽しみは友達に会うことであり、出席理由についても、記念品を期待しているという意見はなかった。

(3) その他

【事務局】 東京都市町村社会教育委員連絡協議会事務局から、平成24年度社会教育委員活動記録作成にかかる原稿の提出についての依頼が来ている。

【委員】 活動記録の管外研修について、全国社会教育委員研究大会を報告した方がよいのではないか。

【事務局】 別に参加人数を報告することになっているが、東京都市町村社会教育委員連絡協議会事務局に確認する。

【委員】 紹介したい実践事例について、生涯学習フェスティバル釜の淵新緑祭を報告した方がよいのではないか。

【事務局】 報告する。

4 その他

各種参考資料、報告書配布

【委員】 教育相談だよりは、18日から配布予定である。今回の内容は、2月1日に市役所2階会議室で行う研究発表会についても掲載しており、時間があれば委員の皆様も参加をどうぞ。

- 【委員】 次回の定例会後に、新年会を開催したい。場所は後日連絡する。
- 【事務局】 18日まで、市役所1階のロビーにおいて社会教育課の事業を紹介、展示している。
- 【議長】 展示は初めての試みか。
- 【事務局】 そうである。生涯学習推進市民会議の企画展などの写真を展示してある。

次回定例会 2月19日（火）